Kyoto Design Award

2026

入　賞　/　入　選　作　品

KDA
design.
kyoto

公益社団法人
京都デザイン協会

ごあいさつ

京都デザイン協会は、第一線で活躍するデザイナー及びデザイン関係者を結集し、デザインを通じて京都の地域産業振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として、1967年5月に京都デザイン協議会として発足、1979年に京都デザイン協会と改名、1981年に社団法人京都デザイン協会に移行し、2013年6月には公益社団法人京都デザイン協会の認可を受け活動を継続しています。

京都はその歴史や伝統に甘んじることなく、常に最先端を目指し、柔軟な思考を大切に先進性や革新性を重んじてきました。「京都デザイン賞」は、その「京都らしさ」を軸にデザインされた作品や提案を、発見、顕彰、そしてその良さを広報し、流通に載せる一助を担うことを目的として長年継続している事業です。

私たちは今後とも「京都デザイン賞」で選出した優秀な作品を、「京都発21世紀の大きな波」となることを願い、日本、世界へ向け発信していく所存ですので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

2026年11月

主催者代表　公益社団法人京都デザイン協会

理事長　奈良磐雄

Kyoto Design

審 査 講 評

審査委員長　木原三郎
公益社団法人京都デザイン協会 理事
株式会社TAKAYASU 取締役 クリエイティブディレクター

審査副委員長　住谷晃也
公益社団法人京都デザイン協会 会員
造園家／株式会社杉景 代表取締役

本年度の審査を通じて、応募作品の全体的な質の向上が顕著に感じられました。

学生部門においては、個人の取り組みに留まらず、大学の垣根を越えたチームや、地域・企業との産学共同による活発な活動が数多く見受けられました。さらに、海外からの出品も年々増加しており、国際的な広がりを見せていることは大変喜ばしい限りです。

特に建築関連部門においては、ホテル等の大型プロジェクトに限らず、住宅においても様々な先駆的試みがなされており、これからのデザインの可能性を大きく広げる、甲乙付け難い素晴らしい作品の数々が揃う結果となりました。

大賞を受賞した『帝国ホテル京都（旧弥栄会館）』は、新築によるラグジュアリーホテルではなく、昭和11年（1936年）竣工の文化財建築を活かし先人の意匠を深く尊重した傑作です。歴史的価値を継承し新たな魅力を付与する試みは、今後のデザイン界に資する大きな示唆に富むものであります。

本年度は、各分野で幅広い発想や意欲的な取り組みが見られ、デザインの多様さを実感する機会となりました。京都府知事賞を受賞した「京都 御室 花伝抄」は、隣接する仁和寺を背景とした素晴らしい立地が非常に印象に残りました。建物の魅力にとどまらず、周辺の景観や歴史、環境との関係性もデザインの重要な要素であると改めて感じ入ります。

また、学生作品には自由な発想や新鮮な視点があり、既成概念にとらわれない柔軟な考え方に今後の大きな可能性を見出しました。私自身、造園に携わる者として、自然や環境と人との関わりを常に大切にしています。今回の審査では、普段接する機会が少ない分野の作品にも多く触れ、大いに刺激を受けました。

表現や手法は異なっても、暮らしや社会をより豊かにするという本質は、すべてのデザインに共通するものだと思います。

今後も、多様な分野を越えた新しい挑戦が生まれることを心より期待しております。

ゲスト審査委員講評

新井清一
建築家／ARAI ARCHITECTS 代表取締役
京都精華大学 名誉教授

京都デザイン賞建築関連部門では規模や領域、用途も千差万別でありながら、重要なコンセプトが現実の製品・空間として実現された力作が多数見受けられました。他方、京都デザイン賞の特色は他部門の作品群が同じ机上で選出されることにあり、明確な基準なしでの評価は難しいといえます。今回は京都というブランド因子と景観環境、文化の継承、技術的手法が掛け合わされた相関性が如何に組み上げられたかを基準に審査しました。

建築デザイン部門の「帝国ホテル京都」は国の登録文化財、「京都御室花伝抄」は世界遺産仁和寺門前という前述の相関性をとことんまで組み上げたホテル計画です。また、今賞の傾向として多数の学生作品が応募され、次世代の参入は頼もしい限りです。中で目に留まったのは、ゾーニングと引き戸を題材とした「息を吹き返す堀川団地 引き戸と準生活領域によるわたしの重層」および「伏見の清酒 都鶴 黎明」でした。

滝口洋子
ファッションデザイナー／京都市立芸術大学 元教授

先進性や革新性を備え、柔軟さと緻密さを軸に構築されたものを「京都的メソッド」と定義し、今年も京都デザイン賞の公募が行われました。建築分野に力作が揃うのは例年通りですが、今年は優秀な学生作品が増えた印象があります。

多分野にわたる審査を「京都的メソッド」を軸に審査員が意見を交わしながら進めることはこの賞の特徴でありユニークな点です。AIを活用した作品についても議論がありましたが、最終的には新鮮な視点を持ち、心を動かすデザインが選ばれたと思います。「七十二候 錦季便」は季節を愛でる人に向けた定期便。豊富な情報が美しいレイアウトでまとめられ、読み物としても興味深い提案です。「そでまもり」と「巡麗（めぐり）」は若い感性が生きた楽しい和服の提案でした。「半臂浴衣」は自由なアレンジを楽しめる袖なしの浴衣で、コンセプトボードも魅力的です。「凛衿ジバン半袖」は高島縮を用いた現代的なデザインが印象に残りました。

ゲスト審査委員講評

中島信也
CM 演出家／武蔵野美術大学 客員教授
なかじましんやオフィス 代表
株式会社東北新社 アドバイザー

京都は日本一の都。「京都デザイン賞」は日本一のデザインアワードなのです。まずはそんな日本一のアワードの受賞者の皆様、おめでとうございます！

モダンな形状。そこに何故か京都を感じる大賞「モック」この「何故か京都を感じる」というところになんかある。もう一つ大賞の「帝国ホテル」できそうでできない京都テイストの大型ホテル。京都の発する世界へのメッセージやと思います。映像作品「京都絢爛」AIが当たり前になった今日、作品の決め手は伝えたい「思い」と「演出」にある、と考えています。ゴールは「人間の心を動かす」こと。これは映像に限ったことではなく、これからの世界においてあらゆるジャンルのデザインに共通する命題やと思います。AIが大活躍するであろう来年。人間の心を大きく動かす作品が京都に溢れるであろう、という期待を膨らませてくれる作品です。確実に新しい時代がやってくる。そんな予感に溢れた今年のアワードでした。

村田智明
株式会社ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役
公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 理事長
一般財団法人大阪デザインセンター 理事
大阪公立大学 研究推進機構協創研究センター 客員教授
WIDA世界工業デザイン協会 副会長

大賞となった「Mokk」は、京都の木場の風景を、地元産材「みやこ杣木」の可動式パーティションに。曲げ木が描く足元の曲線が美しい。木の重なりが視線を遮りつつ気配を残し、向きや連結数で人との距離感を調整できる点が秀逸だ。入選の「耳なし芳一展」は、怪談を題材にした架空展のグラフィック。モノクロの画面に浮かぶ橙色の琵琶が音を想像させる。入場券の耳の部分を切り離す仕掛けが、入場の所作を物語の一場面に変え、私も少しぞっとした。入選の「WING STOOL SERIES」は、無垢材の座面と翼のような曲面の脚を持つ木製スツールシリーズ。座面の穴に指を掛けて運び、使い終えればスタッキング。座る前後の行為まで考えた造形を評価した。入選の「きょうもよりみち」は、みくじ結びをほどくと、和紙のエコバッグに。使わないときも飾りとして持ち歩ける形が美しい。「結ぶ・ほどく」という所作を、予定外の買い物や小さな贈り物を楽しむきっかけにした発想を評価した。

京都デザイン賞2026　入賞／入選　作品一覧

	部門	作品名	応募者
大賞	第3部門（プロダクト）	Mokk（モック）	デザイン・監修：東俊一郎　谷口実和（京都美術工芸大学） 制作協力：栄井美結　今泉佐和子　宮本貞治　玉村 嘉章 岩松英里子（京都美術工芸大学） 家具制作：平良彗悟（YOKIGI） 発注・制作支援：京都市　一般社団法人京都知恵産業 創造の森　ホリモク株式会社
大賞	第6部門（建築）	帝国ホテル 京都（旧弥栄会館）	建築設計：株式会社大林組 井上雅祐　伊藤直幸　林明　岩垂誠 堀池隆弥　糸嶺円路　藤枝大樹 内装設計：株式会社新素材研究所 榊田倫之　内海美里　津村晶　曽我部果穂
京都府知事賞	第6部門（建築）	京都 御室 花伝抄	戸田建設株式会社 荻田真士　伊礼朋次
京都市長賞	第5部門（映像・生成AI）	京都 絢爛	株式会社伊地智写真型製作所 STUDIO VEROKIO（映像制作・演出） Olivia Papini［La Méduse Violette］（脚本）
京都商工会議所会頭賞	第6部門（建築）	高野川の住宅	越前良太デザイン研究所　越前良太
京都新聞賞	第4部門（和文具）	七十二候 錦季便	図案・意匠　白銀装　山路知苑
伏見の清酒・都鶴賞	第4部門（都鶴）	伏見の清酒「都鶴」黎明	佐伯さくら（帝塚山大学）
京とうふ藤野賞	第4部門（藤野とうふ）	湯葉のもと	寺田匡尋　坂根蒼空　大田雪乃　笠井乙花　村上遥香 菅原千暖　本庄百々花　森田槙介 （京都デザイン&テクノロジー専門学校）
和文具賞	第4部門（和文具）	やつはしクリップ	小笠原咲世（帝塚山大学）
くろちく賞	第4部門（和小物）	そでまもり	小野田瑞希 じゅりあんぬ（嵯峨美術短期大学）
学生賞（画箋堂賞）	第6部門（建築デザイン）	息を吹き返す堀川団地	山﨑天翔（京都美術工芸大学）
入選	第1部門（グラフィック）	京都の聲	西村栞乃（嵯峨美術短期大学）
入選	第3部門（プロダクト）	FLOATING FLOWER	安田知空（嵯峨美術短期大学）
入選	第1部門（グラフィック）	耳なし芳一 展	堀川涼羽（京都美術工芸大学）
入選	第2部門（ファッション）	巡麗（めぐり）	柏村優羽（嵯峨美術短期大学）
入選	第2部門（ファッション）	半臂浴衣	SOU・SOU（若林株式会社）
入選	第2部門（ファッション）	凛衿ジバン半袖	SOU・SOU（若林株式会社）
入選	第4部門（和文具）	景色鉛筆	森脇水紅（嵯峨美術短期大学）
入選	第1部門（グラフィック）	京の四季と息災の知恵	井上朋美（嵯峨美術短期大学）
入選	第1部門（グラフィック）	京の色野菜	田添梨瑚（嵯峨美術短期大学）
入選	第1部門（グラフィック）	マイコースター	山田萠愛（嵯峨美術大学）
入選	第3部門（クラフト）	Clap Wood Square Hand Bag (M)	高梨舞（YURUKU）
入選	第3部門（プロダクト）	WING STOOL SERIES	MANA KAEWMORACHAROEN （Q.C. PARAWOOD CO., LTD.）
入選	第3部門（クラフト）	きょうもよりみち	深谷友貴（帝塚山大学）
入選	第6部門（建築）	はこのまにまに	森田優佑（京都美術工芸大学）
入選	第5部門（映像）	南山城村color	渡口凱史　寺嶋 梓人　太田 昇希　野村 蛍太 伊吹 恒之介（京都デザイン&テクノロジー専門学校）

※KeDDii ALPHA賞は 今年度は該当作品がありませんでした

大 賞　第3部門（プロダクトデザイン）

Mokk（モック）

デザイン・監修：東俊一郎　谷口実和（京都美術工芸大学）
制作協力：栄井美結　今泉佐和子　宮本貞治　玉村嘉章　岩松英里子（京都美術工芸大学）
家具制作：平良彗悟（YOKIGI）
発注・制作支援：京都市　一般社団法人京都知恵産業創造の森　ホリモク株式会社

「Mokk」（モック）は、京都市域産材「みやこ杣木」を使用した可動式パーティションです。板の重なりによって視線を遮りながら、周囲の気配や奥行きを感じられる、緩やかな境界をつくります。木製フレームは金属ダボで容易に連結でき、向きや並べる数によって、視線の遮り方や区切る範囲を調整できます。働き方や好みに合わせて、個々の空間のつながり方を調整しながら使い続けられる家具を目指しました。

着想の原点は、京都の杣山と木場を視察した際に出会った、様々な材木が立ち並ぶ風景です。上部へ伸びる直線と足元で折り返す曲線を、一続きの材で構成しました。見る角度で変わる板の重なりが、空間に奥行きとリズムを生み出します。大学主導の産官学連携により、産地や製材所の視察、オフィス運営者との対話、木工職人との試作を通じて、地域の素材と技術を、使い手が求める機能へと結びつけました。

本作品では、熟練の職人の知恵が素材を引き立てるディテールを支え、若い視点が現代の暮らしに寄り添う使い方の可能性を押し広げています。世代を越えた対話から生まれる、緻密さと柔軟さを併せ持つものづくりには、「京都的メソッド」に通じるものがあると感じています。



大 賞　第6部門（建築）

帝国ホテル 京都（旧弥栄会館）

建築設計：株式会社大林組
井上雅祐　伊藤直幸　林明　岩垂誠
堀池隆弥　糸嶺円路　藤枝大樹
内装設計：株式会社新素材研究所
榊田倫之　内海美里　津村晶　曽我部果穂

伝統的な町家やお茶屋が立ち並び、歴史的景観保全修景地区に指定されている京都市祇園町。そのシンボルであり、国の登録有形文化財である弥栄会館（1936年竣工/劇場）は、老朽化と耐震不足により近年は一部が使われるのみであった。

プロジェクトの主題は、地域の風景となっている景観の継承と、文化財としての価値を維持しながら、ラグジュアリーホテルとして増改築及び改修を行い、未来へ引き継ぐことである。

実現にあたって、ホテルとして活用するための要素を内部・外部に取り入れながら、詳細な調査および検討により、保存、修復、復原、変更、付加を行っている。

弥栄会館を象徴する南西面は、可能な限り既存躯体と意匠を保存・復原し歴史的景観と文化財価値を継承。一方、劇場空間を含む北東面は一旦解体して増改築を行い、既存躯体と一体化しホテル機能と構造安全性を両立した。

その結果、12m高度地区であるものの、京都市より「優れた意匠を有し、景観の向上に資する」として評価、高度特例許可を取得し、既存高さ31.5mである本建物の保存活用が可能となった。また、これらの取り組みが認められ、登録有形文化財が継続した。















京都府知事賞　第6部門（建築）

京都 御室 花伝抄

戸田建設株式会社　荻田真士　伊礼朋次

世界遺産・仁和寺の門前という唯一無二の敷地において、建築が取るべき姿勢は自己表現ではなく、歴史的環境への深い敬意と調和である。本計画は、装飾や華やかさを抑え、仁和寺に対して『控える建築』を目的とした。

01 景観への回答

セットバック・分節で二王門への視認性を保全。樹木や石垣の保存・活用し、記憶を継承。

02 文化の継承

西陣織・清水焼・京瓦など伝統工芸品を空間・道具・体験に展開。

03 技術的統合

法規制の順守と環境設備・構造を景観保全と両立させた合理的な計画。

景観・文化の継承・技術的統合をすることで、宿泊施設としての事業性・快適性を高次元で実現した。京都市上質宿泊施設第1号案件として、48条用途許可に関する協議・調整を重ね、延床面積5,898㎡の施設として事業を成立させている。最高高さ10mの厳しい景観規制のもと、階高を最小で2850㎜に抑えながらも、客室の断面構成、天井形状、照明計画、内装のプロポーションを緻密に検討し、圧迫感を感じさせない滞在空間を実現した。

建築概要　建物用途：ホテル／建物高さ：9.98m／建蔽率：41.78％／容積率：148.67％／敷地面積：3866.62㎡／建築面積：1615.35㎡／延床面積：5897.51㎡／階数：地上3階地下1階／構造：RC造、一部木造



京都市長賞　第5部門（映像 生成AIによる作品）

京都 絢爛

株式会社伊地智写真型製作所　伊地智康寛
STUDIO VEROKIO（映像制作・演出）
Olivia Papini［La Méduse Violette］（脚本）

本作「京都 絢爛」は、京友禅の型染めを支える製版に90年にわたり携わり続け、その中で蓄積してきた伝統意匠を、デジタルグラフィックとして再構築し、生成AIによって新たな世界観へと展開した映像作品です。これまで着物の意匠としてのみ描かれた図案に、動き、奥行き、光の変化を与え、本来の用途を越えた芸術表現へと解き放つ。その試みを30秒の映像に凝縮しました。

生成AIは、伝統意匠の魅力を現代の感性へ届け、新たな視覚体験へと拡張するための、表現手段として用いています。映像に登場する工房の情景や職人の動きも、すべて生成AIによって表現し、かつての製造現場を映像の中によみがえらせました。

また、本作は、フランスのOlivia Papini 氏（脚本）、STUDIO VEROKIO（動画制作）との国際共同制作であり、異なる文化的視点を取り入れた点も特徴です。伝統は、保存されるだけではなく、時代に応じて刷新されることで未来へ受け継がれていく。本作には、失われつつある京友禅の意匠を、次代に活かせる伝統デザインとして再提示したい という思いを込めています。





京都商工会議所会頭賞　第6部門（建築デザイン）

高野川の住宅

越前良太デザイン研究所　越前良太

本計画は、京都市左京区・高野川沿いに位置し、松ヶ崎丘陵を望む約100 ㎡の敷地に建つ住宅である。特別修景地区における景観や緑化、建築ボリュームなどの制約の中で、床面積の確保と空間的な広がり、周辺環境との連続性をいかに両立させるかが設計の主題となった。構造そのものを空間構成の要素として捉え、1 階は上部2 層を支えながら高野川へ大きく開くRC 造、2 階床は木造組梁、3 階屋根は鉄骨の棟木と木架構を組み合わせた構成とした。異なる構造形式がそれぞれの特性を活かして互いを補完し、構造的合理性と空間の伸びやかさを両立させている。また、高野川へと連続する床や大開口、風景に向かって張り出す出窓、入側縁や深い軒によって、内部と外部が段階的につながる多様な居場所をつくった。

京都の町家や数寄屋建築に見られる中間領域のあり方に学び、風・光・視線・風景を受け止め、調整する空間を現代の住宅に取り入れることで、都市と自然を緩やかにつなぐ暮らしを提案した。「京都らしさ」を形態ではなく、空間体験として捉え直す試みである。





京都新聞賞　第4部門（新しい和文具の提案）

七十二候 錦季便

図案・意匠　白銀装　山路 知苑

古来、日本では一年を「二十四節気」と七十二の小さな季節「七十二候」に分け、草木や生き物、空や水のわずかな変化に季節の訪れを見出してきました。

「錦季便」は、一候を一枚に綴った、季節を感じるための暦です。予定を管理するためのカレンダーではなく、今このときの季節に目を向けるためのもの。

季節を映した文様の友禅和紙と、七十二候を軸に月の満ち欠けや旧暦など、自然と季節を楽しむための情報が、毎月六候づつ手元に届きます。

友禅和紙は暦台紙から取り外すことができ、季節を暮らしの中に取り込むことができます。

毎月、京都から季節の暦が届く。七十二候を友禅和紙で楽しむ定期便。

一年分を一度に手にするカレンダーではなく、その時季の六候だけが毎月届く仕組みです。

感じる　毎月、京都からその時季の暦が届く。
季節の移ろいに気づき、友禅和紙の文様や色から、季節を感じる。

知る　七十二候や旧暦、月の満ち欠け、文様の意味を知る。
身のまわりの小さな変化に意識を向ける。

味わう　友禅和紙は取り外し、飾る、切る、折る、包む。
自分で手を動かして、季節を暮らしの中に取り込み、味わう。



伏見の清酒・都鶴賞　第4部門（伏見の清酒「都鶴」ラベル・パッケージデザイン）

伏見の清酒「都鶴」黎明

佐伯さくら（帝塚山大学）

箱を開けば、静かに広がる一及の屏風。
そこに付も「都楽明」は、夜明けの光をまとい、
日々の景色に凛とした彩りを添える。
味わう前も、そのひとときも、余顔の先も。
酒とともにある時間を美しく飾る、暮らしの中の小さな情景。
箱の上面と下面には磁石を内蔵し、側面に固定できる構造としました。

箱をくと、瓶の支えとなっていた上下面は自由に取り外すことができます。
瓶の表側には部が、瓶の裏側には月がプリントされています。



京とうふ藤野賞　第4部門（「京とうふ藤野」パッケージデザイン）

湯葉のもと

寺田匡尋　坂根蒼空　大田雪乃　笠井乙花　村上遥香　菅原千暖　本庄百々花　森田槙介
（京都デザイン&テクノロジー専門学校）

このたび、私たちはチーム一丸となって話し合いを重ね、京とうふ藤野様のパッケージデザインを考えました。
一人ひとりのアイデアや視点を持ち寄り、試行錯誤を繰り返しながら、私たちだからこそ生まれた発想を、デザインに落とし込みました。8人で一つのチームとなり、制作したデザインをご提案いたします。
私たちの想いとアイデアが少しでも伝わり、気に入っていただけたら幸甚です。
日本の伝統食品である湯葉だからこそ、まずは「和」を感じてもらえるデザインを目指しました。
そこに、文字の配置やポップなレイアウトや色使いを組み合わせることで、堅苦しさをなくし、若い世代を含む幅広い世代の方に気軽に手に取ってもらえる親しみやすさを表現しています。
また、背景には、日本の手ぬぐいに見られる豆絞りの柄をイメージし、出来上がった四角い湯葉をモチーフにした柄を配置しました。
湯葉を日本らしい柄として表現することで、商品の特徴と和の文化を掛け合わせています。



サイズ　縦 202×横124mm
裏面には、必要な表示事項とともに、湯葉のもと」の「紹介文章とお召し上がり方を掲載しています。

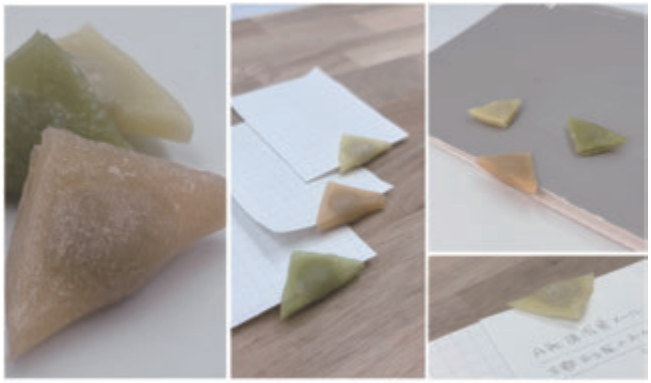
和文具賞　第4部門（新しい和文具の提案）

やつはしクリップ

小笠原咲世（帝塚山大学）

「食べる生八つ橋」を「使って楽しむ生八つ橋」へ。
京都土産として親しまれる「生八つ橋」の折り重なるやわらかな曲線のクリップ。置いておくだけでも京都らしさを感じられます。

生八つ橋モチーフ……三角形のフォルムで紙をはさむ
京の色……プレーン・ニッキ・まっちゃのフレーバーカラー
コンパクトな設計……ペンケースに収まるサイズ
使用シーン……ノートの目印、書類の整理、メモをはさむ、メモを立てる
伝統をもっと身近に、京都の思い出をあなたの日常に。





くろちく賞　第4部門（布素材を使った和小物のデザイン）

そでまもり

小野田瑞希　じゅりあんぬ（嵯峨美術短期大学）



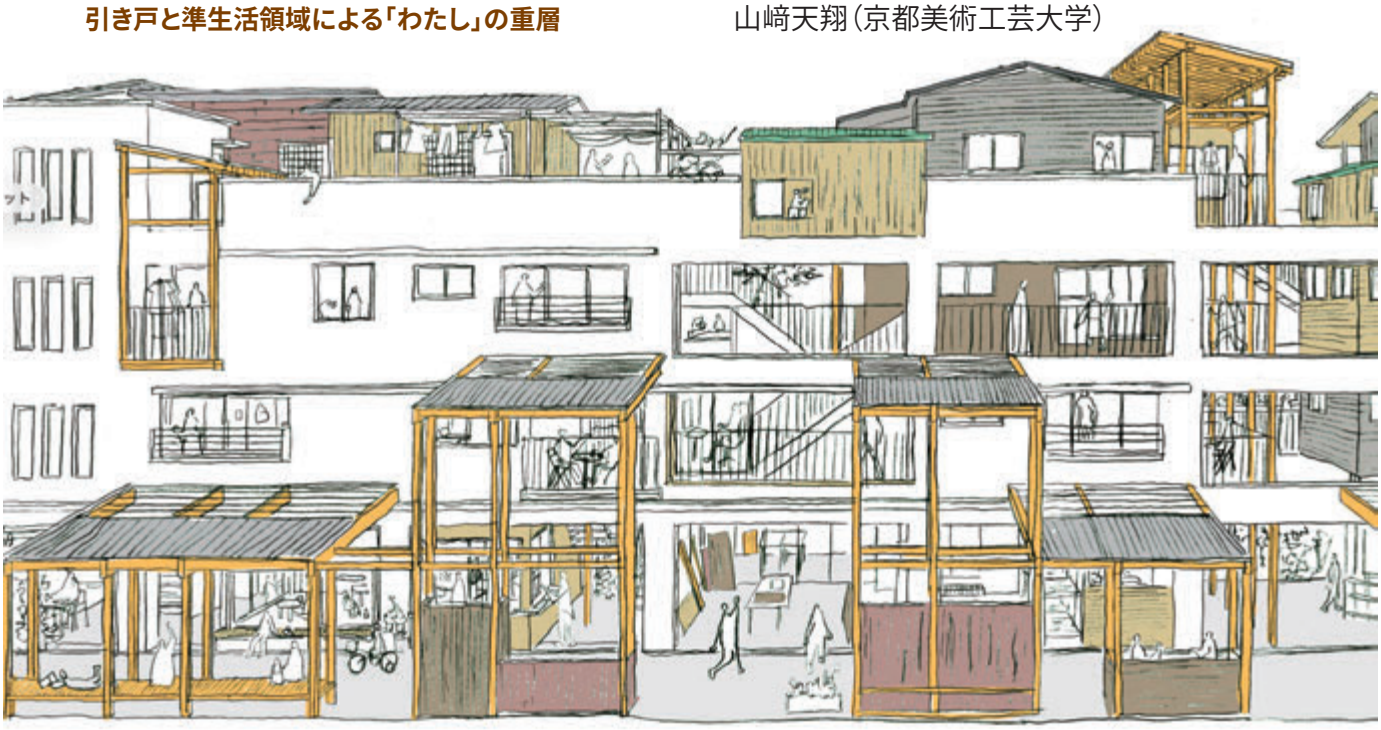


学生賞（画箋堂賞）　第6部門（建築デザイン）

息を吹き返す堀川団地

引き戸と準生活領域による「わたし」の重層

山﨑天翔（京都美術工芸大学）



まちとは足跡や洗濯ものといった痕跡から買い物や散歩といった人そのものの行動に現れる、「わたし」という様子の重層によって形作られる。しかし、同じような素材を使った建材や外部空間を生かさない建築形態が群生することで、現在の堀川団地や周辺のまちは確実に「わたし」の存在を失い、窒息し始めている。そのため、引き戸や準生活領域をつかって団地、まちの呼吸を取り戻すことが出来る堀川団地を提案する。

KYOTO
DESIGN AWARD
2026

京都デザイン賞の受賞者・入選者とおつなぎします。
お取り次ぎをご希望の方は、京都デザイン賞事務局へメールでお問い合わせください。
award@kyoto-design.or.jp
受賞者・入選者のご都合でご要望に添えない場合もございます。

入 選　第1部門（グラフィックデザイン）

京都の聲

西村栞乃（嵯峨美術短期大学）

京都には、いくつもの聲がある。
風が吹けば、風鈴が鳴る。
その音は、目には見えない風を、私たちに知らせてくれる。
京都もまた、さまざまな人や文化が交わることで、日々新しい音を生み出している。
暮らす人、訪れる人、受け継ぐ人、変えていく人。
それぞれの想いが重なり合い、一つの「京都」をつくっている。
だから、この作品では風鈴を京都そのものに見立てた。
風鈴から伸びる紐は、人と人、文化と暮らし、過去と未来をつなぐもの。
一つひとつの風鈴が持つ音は異なっていても、紐をたどれば、すべてがどこかでつながっている。
観光客が増えたことで生まれる賑わいも、
そこに暮らす人が感じる静けさも、
守りたい伝統も、変わっていく街の姿も。
どれか一つが正しいのではない。
京都には、たくさんの聲がある。
その聲を消すのではなく、
互いの音に耳を澄ませながら、
これからの京都をつくっていく。



入 選　第3部門（プロダクトデザイン）

FLOATING FLOWER

安田知空（嵯峨美術短期大学）

水面に浮かぶ文様をモチーフにした傘立て。
京の町屋や旅館と調和し、華やかに客人を出迎える。
憂鬱な雨の日も心穏やかに…
文様の中央にある穴に傘を差し込めます
傘が立てる高さにしているため倒れる心配はありません
今回は全4 種類で大小さまざまですが
デザインは文様の数だけ増やしていくことも可能です

大きさ
楓：直径150mm
梅：直径163mm
桜：直径160mm
菊：直径120mm



入 選　第1部門（グラフィックデザイン）

耳なし芳一 展

堀川涼羽(京都美術工芸大学)

京都には、長い歴史の中で育まれてきた文学や伝統文化が数多く残されている。近年も『源氏物語』をはじめとする古典文学を題材とした展覧会などが開催され、古くから受け継がれてきた物語が、現代の視点から改めて注目されている。

そこで、京都を代表する古典文学として広く知られる『源氏物語」だけではなく、日本には同じように長く語り継がれてきた『平家物語』や、それにまつわる伝承・怪談が存在することに着目した。

今回取り上げたのは、小泉八雲によって世界にも紹介された『耳なし芳一」である。『耳なし芳一」には、平家の亡霊、壇ノ浦、琵琶、仏教、祈りなど、日本の歴史や仰、芸能が複雑に重なっている。これらを単なる「昔の怖い話」として扱うのではなく、現代のグラフィックデザインによって、もう一度人の目を引きつけることができるのではないかと考えた。

本作品では、「伝統的な題材を、現代の人に届くデザインへ変換する」ことを一つの挑戦として設定した。

古くから受け継がれてきた物語を、そのまま保存するのではなく、現代の視点から新たな価値として提示する。

「昔からあるものだからこそ、今のデザインで見せる。」それが本作品の出発点である。



入 選　第2部門（ファッションデザイン）

巡麗（めぐり）

柏村優羽（嵯峨美術短期大学）





入 選　第2部門（ファッションデザイン）

半臂浴衣

SOU・SOU

奈良時代以降に着用された袖のない着物“半臂（はんぴ）”を現代の浴衣に。
袖のない着物“半臂”を元にした浴衣。帯を合わせて浴衣として着用するのはもちろん、中に袖のあるインナーを合わせたり、パンツを合わせることで様々なコーディネートをお楽しみいただけます。
パンツを合わせて、帯なしで羽織としても着用できます。
袖ありの衣服を中に重ね、裾はまくり上げる「からげ」スタイル。
躍動感のある和装も楽しめます。







入 選　第2部門（ファッションデザイン）

凛衿ジバン半袖

SOU・SOU

凛衿（りんえり）ジバン半袖。首元がすっきり立ち上がる和装衿のインナー肌着（ジバン）です。吸湿速乾性に優れた高島縮素材の半袖インナー。衿には薄い中綿が入っており、和装ならではのすっと立ち上がる衿となっています。
和装の羽織と重ねた際に、インナーも和装らしいデザインを合わせることによって全身のトータルバランスが整います。Tシャツのようにさっと着ることができるので手軽に和装をお楽しみいただけます。
自然に立ち上がる衿が美しく1枚での着用でもお楽しみいただけます。







入 選　第4部門（新しい和文具の提案）

景色鉛筆

森脇水紅（嵯峨美術短期大学）

一本では、ただの色鉛筆。ケースに並べると、京都の名所が現れます。
伏見稲荷大社、嵐山、鴨川…。京都を代表する名所から、その景色を彩る色を集めました。描いて楽しむ、並べて眺める。京都の名所を一箱に。

千本鳥居
並べると、伏見稲荷の鳥居のように。
朱の鳥居、夕暮れの光、古都の情景をイメージしたセット。

竹林の小径
並べると、嵐山の竹林のように。
深い緑、揺れる竹の葉、木漏れ日をイメージしたセット。

鴨川のせせらぎ
並べると、鴨川の流れのように。
清らかな水、青い空、川辺を渡る風をイメージしたセット。



入 選　第1部門（グラフィックデザイン）

京の四季と息災の知恵

井上朋美（嵯峨美術短期大学）

京都の観光シーズンといえば、桜あるいは紅葉の見頃です。
しかし地元民にしてみると、盆地特有の蒸し風呂さながらの夏、そして、底冷えまっしぐらの冬ほど強烈なものはありません。
長らく住まわれている方、出張や旅行にいらした方が健康第一で安心して過ごせるよう、いけずな気候とともにこの地の風情ある景観や滋味を愉しんでいただけるよう、真っ直ぐな思いをポスターのなかに具現化しました。
気が急くときも、浮き立つときも無理は禁物。
ひとやすみもまた、粋な京都観光のうちです。





入 選　第1部門（グラフィックデザイン）

京の色野菜

田添梨瑚（嵯峨美術短期大学）

京やさいを幾何形態の集合体として捉え野菜の形や色を細かな面に分けて構成した。ガラス細工のように見える造形が京都の伝統や文化に通じる繊細さを表現している。



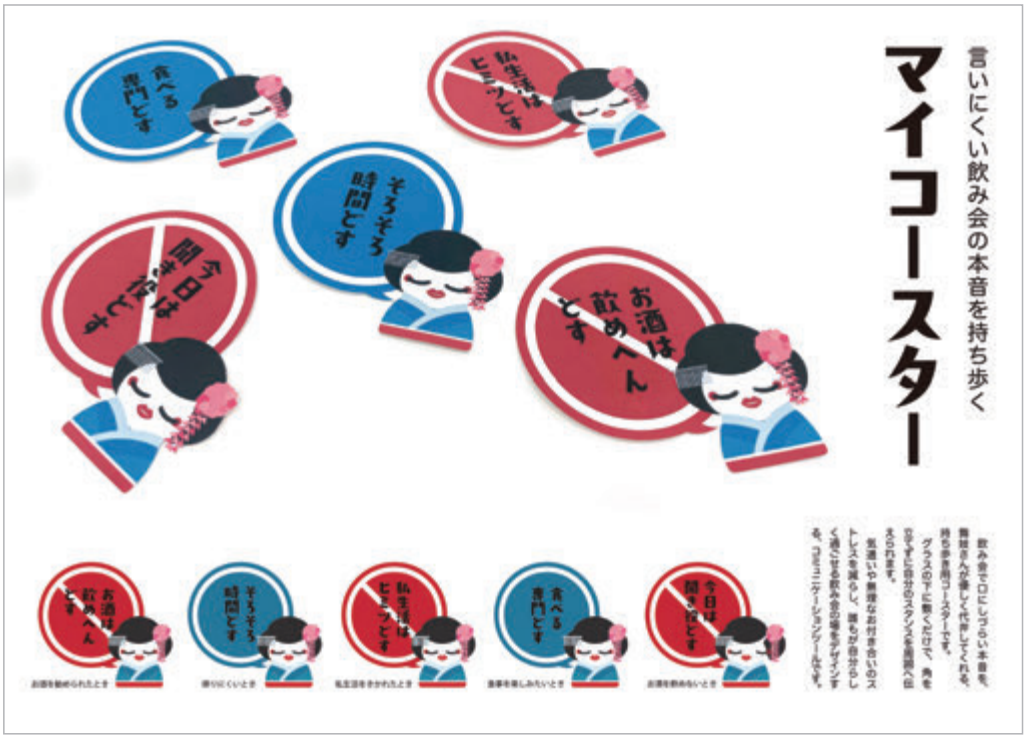


入 選　第1部門（グラフィックデザイン）

マイコースター

山田萠愛（嵯峨美術大学）

飲み会で口にしづらい本音を、舞妓さんが優しく代弁してくれる、持ち歩き用コースターです。
グラスの下に敷くだけで、角を立てずに自分のスタンスを周囲へ伝えられます。
気遣いや無理なお付き合いのストレスを減らし、誰もが自分らしく過ごせる飲み会の場をデザインする、コミュニケーションツールです。



入 選　第3部門（クラフトデザイン）

Clap Wood Square Hand Bag (M)

YURUKU　高梨舞



プロフィール

1986年 京都出身　京都造形芸術大学 情報デザイン学科卒業

靴メーカーに勤務し、デザイン、パターン、製法などを学ぶ。2012年に独立し、靴で学んだ技術を活かしバッグブランドYURUKUを立ち上げる。様々な百貨店や店舗で展示や販売。

コンセプト

YURUKU の革鞄はそれがシンプルな分だけ、持つ人びと一人ひとりの個性をより一層際立たせる。それでいて「遊び」を含んだデザインは、確かなアクセントとして日々の様々なファッションに彩りを添える。

長く使えるものだからこそ暮らしに寄り添い、あなたの色が刻まれた鞄は、人生とともにいつのまにかこの世界にたひとつしかないものへと変わる。

商品説明

ウッドパーツは、家具職人の手仕事が光るブランドオリジナル。国産の牛革と共に経年変化していく表情の移ろいや、オールハンドメイドの手触りを心ゆくまで楽しんでもらいたい。

入 選　第3部門（プロダクトデザイン）

WING STOOL SERIES

MANA KAEWMORACHAROEN
Q.C. PARAWOOD CO., LTD.





Design Concept

The Wing stool for Bendi-Bangkok is a study in material, form and construction. Inspired by shapes found in nature, strength comes from a strict adherence to geometry and innovative construction techniques that belie its modest use of materials.

Simple, honest and pragmatic the design has evolved into a family of products that capture the beauty and strength of wood and sit in harmony with the world around them.

BendiBangkokのWing（ウィング）スツールは、素材、フォルム、そして構造に対する探求の結晶です。自然界の造形からインスピレーションを得たその強度は、厳格な幾何学へのこだわりと、最小限の素材使いからは想像もつかない革新的な構造技術から生まれています。

シンプルで誠実、そして実用的なこのデザインは、木の美しさと力強さを体現し、周囲の環境と自然に調和するプロダクトファミリーへと進化を遂げました。

入 選　第3部門（雑貨デザイン）

きょうもよりみち

深谷友貴（帝塚山大学）

「結び」をモチーフに、予定外の寄り道を楽しむためのエコバッグ。
仕事帰りにふと立ち寄ったお店での買い物や、予定になかったお土産、誰かへのちょっとした贈り物。そんな「今日、少し寄り道してみよう」という瞬間に、さっと取り出して使えるエコバッグです。

エコバッグを小さくまとめると、結び目のようなキーホルダーになり、普段はバッグや鍵につけて持ち歩けます。
必要なときにほどくことで、エコバッグへと変わります。
○京都＝和を感じるモチーフ
○使用時のデザイン⟷非使用時のデザイン
○エコマテリアル：和紙



入 選　第6部門（建築デザイン）

はこのまにまに

森田優佑（京都美術工芸大学）

社会福祉法人京都福祉サービス協会が京都市と連携して進めた「ダンチとフクシのミライをデザインする〜8大学連携プロジェクト〜」は、高齢化と空室化が進む山科・醍醐地域の市営住宅で、空き住戸8戸を福祉職員用社宅として再生し、団地の活性化を目指す取り組みである。京都市内の8大学が1戸ずつ改修を担当し、私たち京都美術工芸大学は醍醐中山団地11号棟505号室を手がけた。本住戸は、互いに面識のない職員2名が暮らすシェアハウスであり、エレベーターのない住棟の5階に位置する。そこで、室内に新たな「はこ」を挿し込む入れ子構造を提案した。個人の「はこ」は私的な時間を守り、共用の「はこ」とそれらを取り巻く「ま」は、住み手同士の関係が少しずつ育まれる場となる。建具の開閉によって、空間の繋がりだけでなく、通風や熱の行き渡り方も住み手自らが調整できる。また、「はこ」を階段で運び上げられる小さなパネルユニットで構成し、解体・再利用が可能な循環型の構法とした。大規模な解体や新築ではなく、内部に空間の階層を設けることで、既存の住戸に新しい暮らしを宿す。「はこのまにまに」は、そうした団地再生のひとつのかたちを示す試みである。



入 選　第5部門（映像オリジナル作品）

南山城村color

渡口凱史　寺嶋梓人　太田昇希　野村蛍太
伊吹恒之介（京都デザイン&テクノロジー専門学校）

南山城無村とは京都府で唯一の村
お茶の産地として知られ、山あいに茶畑が広がります。
作品概要
「この村の魅力を伝える映像を。定番の観光紹介ではなく、南山城村らしいものに」道の駅の方からの依頼を受けて制作した、村で出会った4人へのインタビューによるドキュメンタリーです。
コンセプト
南山城村といえばお茶畑。多くの人が、村の色は緑だと答えるでしょう。
しかしロケハンで歩いた村には、赤い吊り橋や澄んだ空など、緑だけではない色がありました。そこに着目し、村にいる人にそれぞれの色を聞きました。
制作の工夫
ドローン撮影を取り入れ、地上からは見えない村の広がりと色を捉えました。出会った場所でそのままインタビュー。台本は用意せず、その人の話し方と声で、村の色を語ってもらいました。
最後に
南山城村の色は緑だけではありません。人と出会うたびに、村の新しい色が見えてきます。この映像が、あなた自身の色を見つけに村を訪れるきっかけになればと願っています。





KYOTO
DESIGN AWARD
2026

京都デザイン賞の受賞者・入選者とおつなぎします。
お取り次ぎをご希望の方は、京都デザイン賞事務局へメールでお問い合わせください。
award@kyoto-design.or.jp
受賞者・入選者のご都合でご要望に添えない場合もございます。

京都デザイン賞 2026　開催概要

京都デザイン賞開催趣旨

京都的メソッドのデザインを見つけたい

京都は、その歴史や伝統に甘んじることなく、
つねに最先端を目指し、柔軟な思考を大切に
先進性や革新性を重んじてきました。
そこで私たちは、先進的であり革新的であり、
柔軟さと緻密さを軸に構築されたものを
「京都的メソッド」であると定義しました。
そんな京都的メソッドのデザインを世界中から
見つけていきたいと思います。

募集部門

第 1 部門　グラフィックデザイン・パッケージデザイン
第 2 部門　ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・きものデザイン
第 3 部門　プロダクトデザイン・クラフト・雑貨デザイン
第 4 部門　課題によるデザイン提案
　課題① 伏見の清酒「都鶴」ラベル・パッケージデザイン
　課題②「京とうふ藤野」パッケージデザイン
　課題③ 新しい和文具の提案
　課題④ 布素材を使った小物のデザイン
　課題⑤ 京都の神社仏閣で使われる新しい金属製ピクトサイン３種
第 5 部門　映像
　① オリジナル作品
　② 生成 AI による作品
第 6 部門　建築関連デザイン
　① 建築デザイン
　② インテリアデザイン
　③ 造園／環境デザイン

応募資格

すべての法人・団体・個人（国籍・居住地を問わず 国内外において活動される外国人も含む）　年齢制限もありません

応募基準

■ 京都的メソッドによって創られたデザインであるか。
■ 使いやすい配慮がなされているか。
■ 環境への配慮がなされているか。

※すべてに当てはまらなくても可

審査委員

ゲスト審査委員

新井清一　建築家／ ARAI ARCHITECTS 代表取締役
　京都精華大学 名誉教授
滝口洋子　ファッションデザイナー／京都市立芸術大学 元教授
中島信也　CM 演出家／武蔵野美術大学 客員教授
　なかじましんやオフィス 代表
　株式会社東北新社 アドバイザー
村田智明　株式会社ハーズ実験デザイン研究所　代表取締役
　公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 理事長
　一般社団法人大阪デザインセンター 理事
　大阪公立大学 研究推進機構協創研究センター 客員教授

※当初予定しておりました佐藤卓氏はご都合がつかず辞退されました

協会審査委員

木原三郎　公益社団法人京都デザイン協会理事
　株式会社 TAKAYASU 取締役 クリエイティブディレクター
　審査委員長
住谷晃也　公益社団法人京都デザイン協会会員
　造園家／株式会社杉景 代表
　審査副委員長

公益社団法人京都デザイン協会　正会員　特別会員

募集期間

2026 年 8 月 30 日（日）～9 月 30 日（水）

審査

1 次審査　10 月 1 日（木）～ 10 月 15 日（木）
2 次審査　11 月 1 日（日）～ 11 月 8 日（日）

審査結果

入賞……11 点　　入選……15 点

授賞式・作品講評会

授賞式・作品講評会：11 月 29 日（日）14 時～17 時
　京都府庁旧本館正庁・旧議場

交流会

交流会：11 月 29 日（日）18 時 30 分～ 20 時 30 分
　しょうざんリゾート京都　中華料理「楼蘭」

Kyoto Design

京都デザイン賞 2026 を支えていただいたみなさまに感謝します

■後援

京都府

京都市

京都商工会議所

公益財団法人京都産業21

京都府中小企業団体中央会

京都新聞

KBS京都

NHK京都放送局

エフエム京都

■ 協力

有限会社画箋堂

京とうふ藤野株式会社

京都芸術家国民健康保険組合

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学

株式会社くろちく

KeDDii ALPHA株式会社

株式会社尚雅堂

有限会社匠弘堂

都鶴酒造株式会社

ホルベイン画材株式会社

■特別賛助会員

有限会社中村清草園

■賛助会員

有限会社画箋堂

株式会社京都銀行

京都信用金庫

京都中央信用金庫

京都百貨店協会

KeDDiiALPHA株式会社

株式会社尚雅堂

株式会社パルテごとう

株式会社インフォバーン

■協賛

麻田建具店

板尾左官

蔓技塾 徳舛瓦店有限会社

医療法人奈良会 なら皮フ科クリニック

イワモトエンジニリング株式会社

京都芸術大学

京都北白川天然ラジウム温泉 えいせん京

京都精華大学

京榮藥品株式会社

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学

株式会社アルク

株式会社伊と幸

株式会社しょうざん

株式会社JIJI

株式会社静好堂中島

株式会社TAKAYASU

株式会社中澤ホールディングス

株式会社中善広岡工務店

株式会社パルム

株式会社フクナガ

株式会社松下工房

株式会社三村建築板金

株式会社メディアインパクト

株式会社元奈古

秀創作所

鈴基工務店

高橋Bijou

高室畳工業所

刀剣 開陽堂

まつもとクリニック

万朶花

三浦照明株式会社

室金物株式会社

有限会社アリアソシエイツ

有限会社大進工務店

有限会社ティアック



Award 2026

KYOTO
DESIGN AWARD
2026

See you again

at the Kyoto Design Awards

in 2027.

公益社団法人京都デザイン協会
京都デザイン賞2026 実行委員会
E-mail : award@kyoto.design.or.jp